



花き生産情報第5号（要約版）

令和元年8月20日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

気象情報に留意し、ハウス内の適正な温湿度管理を徹底しましょう。
切り花の品質保持のため、収穫は涼しい時間帯に行いましょう。

1 夏秋ギク

(1) 今後の作業

- ・これから収穫するギクについては、白さび病の予防とともに、アザミウマ類、ヤガ類等の発生に注意し、早期発見、早期防除に努める。
- ・収穫が終わった株を翌年の親株にする場合は、健全な株を残し、刈り込みと追肥を行う。

2 秋ギク

(1) 生育状況

生育は順調である。
病虫害は、ハダニ類、アブラムシ類が散見される。

(2) 今後の作業

- ・わき芽は、小さいうちにかき取る。
- ・施設で花首の伸びやすい品種を栽培している場合は、ビーナイン顆粒水溶剤等を散布する。
- ・奇形花の発生を防ぐため、高温時には換気を十分に行い、必要に応じて循環扇や寒冷紗等を活用し、施設内温度を少しでも低く管理する。
- ・白さび病、アザミウマ類、ヤガ類等の発生に注意し、早期発見、早期防除に努める。

3 トルコギキョウ

(1) 今後の作業（これから収穫するトルコギキョウについて）

- ・発らい後はしおれない程度にかん水を減らし軟弱徒長を防ぐ。
- ・ハウス内が高温・過湿にならないように適正な温湿度管理に努める。
- ・涼しい時間帯に収穫し、速やかに鮮度保持剤による前処理を行う。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎農作業中は熱中症に気をつけましょう。

- 1 日中の暑い時間帯は作業を避けるとともに休憩をこまめに取る！
 - 2 通気性の良い作業着や帽子を着用し、汗で失われる水分や塩分を十分に補給する！
-

◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

- 1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- 2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- 3 自分を過信せず、無理のない作業を行いましょう。
- 4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- 5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼び掛けましょう。

◎農薬は適正に使用しましょう。

1 使用する際は、必ず最新の登録内容を確認しましょう。

【農薬情報】 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

【農薬登録情報提供システム】

詳細検索 → (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

作物名での検索 → (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

2 飛散防止に努め、住宅地等の近隣で使用する際は、事前に周囲に知らせましょう。

3 クロルピクリン剤など土壌くん煙剤を使用する際は、必ず厚さ0.03mm以上又は難透過性の被覆資材で被覆しましょう。

4 市販の除草剤には、農作物等の栽培管理に使用できない「非農耕地専用除草剤」があるので、注意しましょう。

5 農薬は使い切りを徹底し、河川等には絶対に捨ててはいけません。

◎～農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について～

自分にあったセーフティネットに加入し、農業経営に万全の備えを！

1 農業共済

「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に補償される制度です。

2 農業経営収入保険

令和元年から始まった「農業経営収入保険」は、自然災害に加え、農産物の価格低下などにより販売収入が減少した場合に補償される制度です。加入には、青色申告の実績が条件となっています。

※ 詳しくは、お近くの農業共済組合にお問い合わせください。

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課
担当者	野菜・畑作物振興グループ 総括主幹 大和山真一
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5076
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監） 船水浩人 内線 4967